

報道の視点の比較

～時間から（読売新聞）～

E-2-1-7-1
九州北部
豪雨

【 対象 】 司書教諭、一般教員、学校司書、児童・生徒
一般 その他

【 時間 】 60分

【 会場 】 教室 図書館 など

【参加者の持ち物】
筆記用具 など

【準備】 付箋かシール（5色程度） など
キット 九州北部豪雨 8-2-1-7

【 講師 】 不要

【 活動の流れ 】

- ① 2017年の7月6日から2018年1月5日までの読売新聞の記事を災害発生時から時系列に並べる。
- ② 見出しを見て、記事の内容をつかみ、災害の状況・被害の状況・被災者の様子・支援の様子・災害への対策などに分け、①の記事に付箋等を色分けして貼る。
- ③ 記事の内容が時間経過とともにどう変化していったか、その理由は何かを考え、ノートやワークシートに書く。
読者が求めている情報は何か
新聞社が伝えたいことは何か
- ④ 班内で意見を交流し、班で出た意見を全員の前で発表する。
- ⑤ 班員や他の班の意見を聞き、③の「自分の考え」を深めたり、疑問や発見などを書く。

【 その他 】 黒板等に事前に新聞を貼っておき、自由に見る時間を与えてから学習を始める方法もあります。班の数だけコピーを取って班で活動する方法もあります。記事のタイトルに注目させて内容をつかみます。